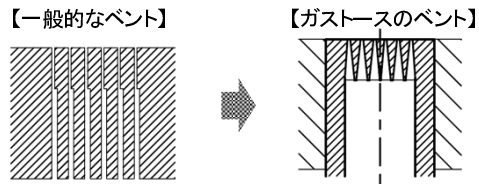


ガストースのメンテナンス方法

ヤニ詰まり

ガストースは先端部分のテーパーにより、排気効率を極限まで向上させ、一般的なベントに比べ、ヤニ詰まりを格段に解消しております。

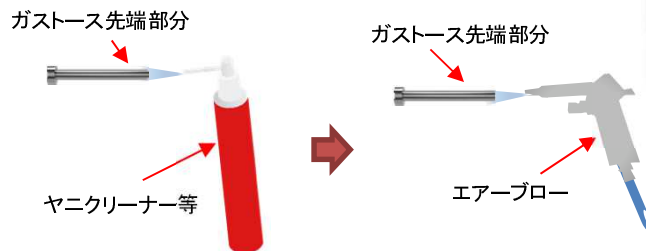


しかし、『魔法のピンではありません』ので成形して行くうちにいずれはヤニが付着し詰まります。その際は下記方法での除去を推奨しております。

当社推奨ガスヤニ除去方法

通常時(生産中の予防として)

PL面清掃、グリスアップ等金型を開いている時に、ヤニクリーナー等を先端部分にスプレーし、その後エアを吹きつける。



生産終了時

生産終了後、温調を外す前に、ヤニクリーナー等でガストースを洗浄し、しっかりエアブローでヤニ・洗浄液を飛ばしてから、温調を取り外し、金型を下ろして下さい。

金型を下した際

超音波洗浄機で洗浄を行う



超音波洗浄(イメージ)



超音波洗浄機をお持ちでない場合は、市販のメガネ洗浄機でも代用可能です。



POINT

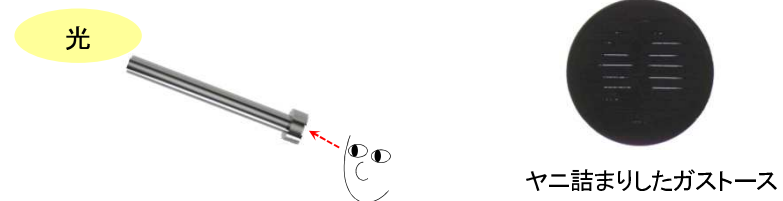
ガスヤニは金型が冷えると固まってしまうので、金型を成形機から下した時に(完全に冷え切る前に)メンテナンスし、洗浄することがポイントです。

メンテナンスを怠ってスリット部がふさがってしまった場合

ツバ側よりガストースを覗き、スリット部にわずかでも光が透過するようでしたら、ガスヤニの付着による詰まりの可能性が御座います。



しっかりと超音波洗浄などの清掃を行うことでスリット部が回復いたします。



POINT

ガストース洗浄の際は、”スリットの入っている面“からスプレーやエアを吹き付けて下さい。ガストースは先端がテーパー構造になっているため、ツバ側からのスプレー・エアの吹きつけはご遠慮下さい。